

会 議 結 果 報 告 書

平成 2 7 年 8 月 2 4 日

会議の名称	志木市公共施設等マネジメント検討委員会第 3 回会議
開催日時	平成 2 7 年 8 月 1 8 日（火） 午後 3 時 3 0 分～午後 4 時 0 0 分
開催場所	庁議室
出席委員	〔検討委員会メンバー〕（※進行者） 委員長：香川市長 副委員長：櫻井副市長、尾崎教育長 委員：中村企画部長、尾崎総務部長、高橋市民生活部長、村上健康福祉部長、谷沢都市整備部長、今野上下水道部長、土岐議会事務局長、原田教育政策部長、 （計 1 1 人）
欠席委員	（計 0 人）
説明員職氏名	松永政策推進課長 （計 1 人）
議 題	1 開会 2 内容 （1）志木市公共施設等マネジメント戦略の策定について （2）その他 3 閉会
結 果	1 開会 2 内容 （1）志木市公共施設等マネジメント戦略の策定について事務局より説明後、質疑応答を行った。 （事務局） 志木市公共施設等マネジメント戦略では、今後 3 0 年間で公共施設の総量を 2 割削減することを目標とした。 策定にあたっては、以下の方法を用いて機械的に各公共施設の

評価を行い再編方策の選定を行った。

① 1次判定

現況整理及び課題、マネジメント方針の内容等を踏まえ、1次判定として、サービスの必要性と建物の安全性から施設別に方向性を仮設定し機械的に振り分けを行う。

具体的には、建替候補、継続候補、廃止候補、転用候補の4つを設定し、建替候補と転用候補については2次判定に進み、継続候補、廃止候補は3次判定に進む。

② 2次判定

1次判定で建替候補と転用候補となった施設について、地域ニーズ、代替可能性等を検証しながら、施設整備の方向性を仮設定し機械的に振り分けを行い3次判定に進む。

具体的には、建替候補、縮小候補、集約候補、複合化候補、転用候補、廃止候補の6つを設定する。

③ 3次判定

再編計画の策定を進めるにあたり、機械的な振り分けだけでは施設の個別事情を考慮することは困難である。単に数値のみで再編方策を選定するのではなく、公共施設サービスの質を確保することは本業務における重要な要素であることから、1次判定、2次判定の結果に加えて、まちづくりの方向性や関連計画等による位置づけ等を勘案し、施設別に方向性を調整・整理を行うことが必要である。

本計画は、2次判定までで整理されており、3次判定については個別計画策定時に調整・整理を行うものである。

(委員)

この計画を策定して今後どのように活用するのか。

(事務局)

各施設の適正配置計画や整備計画を策定する際の基礎として活用していただく。

(委員)

3次判定はどこが実施するのか。

(事務局)

最終決定は庁議に付議することを想定しているが、前段で審議が行えるような別の会議体を設けることも検討している。

	(委員) 複合化とは何か。 (事務局) 本計画では、他用途施設への移転を想定している。 個別の適正配置計画や整備計画については、庁舎建設の行方により大きく左右される。庁舎建設の方向性が決定してからでないと個別の適正配置計画や整備計画には着手できないと考えている。 (委員) 廃止候補の想定には民間譲渡の考えも含まれているのか。 (事務局) そのように考えている。 (委員) 廃止後の跡地管理や施設維持管理についても同時に考えなければいけないのでは。 (事務局) おっしゃるとおり。業務委託などの考えも含めて同時に検討していく。 (委員) 優先度を設けて進めていくべきである。 (事務局) 優先度の考え方として、耐用年数が一つの基準になると考えられる。 (2) その他 特になし 3 閉会
事務局職員	松永政策推進課長、外立政策推進課主幹、田中政策推進課主査、吉田政策推進課主事、豊島秘書広報課長